

人工股関節全置換術後のポリエチレンライナー摩耗に関する研究

(1) 研究の意義・目的について

人工股関節全置換術において、ポリエチレンライナーの摩耗は、人工関節のゆるみをきたす大きな原因であり、ポリエチレン摩耗量を減らすことが課題とされています。

ポリエチレンライナー摩耗に影響する要素の一つに、臼蓋コンポーネント（カップ）の設置角度があります。本研究は、人工股関節全置換術後のレントゲン画像からカップの設置角度とライナー摩耗量を測定し、その関連性を分析することで、人工股関節の更なる向上に役立つと考えています。

(2) 研究の方法について

当院で人工股関節全置換術を受けられた患者様の診療録、およびレントゲンからデータを収集します。

(3) 予測される結果（利益・不利益）について

診療のデータを後から分析しますので、診療の時点での利益・不利益はありません。各患者データの臨床研究への利用は、患者本人の意思でお断り頂く事が可能であり、この場合患者本人が不利益を被る事はありません。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できるような情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表および学術論文として公表される予定です。

(6) 費用について

謝礼等はお渡ししておりません。

(7) 問い合わせ等の連絡先

日本赤十字社医療センター 骨・関節整形外科 伊藤 英也、田中 滋之
〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 電話:03-3400-1311